

かわきた



●6月議会定例会・7月議会臨時会…P2

●委員会審議Q&A…P4

●町政を問う！（いっぱん質問）…P6

6月議会定例会 7日～13日

平成28年第2回(6月)議会定例会では、専決処分の報告が3件、関連して、繰越明許計算書の報告が1件、条例の改正が1件、公社の経営状況の報告が2件、人事案件が2件の合わせて9件が上程されました。

議案は、各常任委員会で審査され、すべて原案通り全員賛成で可決しました。

また、議会定例会最終日には、追加議案として財産の購入契約が1件上程され、審議後、原案どおり、全員賛成で可決しました。

公平委員会委員に畦地氏、 固定資産評価審査委員会委員に吉岡氏が決定!

報 告

○川北町税条例の一部を改正する
条例の専決処分の報告並びに承認

○川北町固定資産評価審査委員会
条例の一部を改正する条例の専
決処分の報告並びに承認

○平成27年度川北町一般会計補正
予算の専決処分の報告並びに承認

○平成27年度川北町繰越明許費繰
越計算書の報告

○川北町土地開発公社の経営状況
の報告

○一般財団法人川北町余暇健康開
発公社の経営状況の報告

条例の改正

○国民健康保険税条例の一部を改
正する条例

町の国民健康保険会計では、県内他市町に比べ、税率を低く設定し、国や県からの特定財源などを除いた不足分は、繰入金による町単独の財政支援を行ってきましたが、国保制度改革により、平成30年度から、財政運営主体が県へ移行する予定で、先月、開催された国民健康保険運営協議会において、税負担の公平性・均衡性の観点から、税率見直しの答申があり、これを受け、今回、改正を行うもの。



人事

○川北町公平委員会委員

畦地 勇夫氏（下田子島）



平成28年6月30日で、山本栄氏（下田子島）が任期満了となり、新たに畦地勇夫氏を選任すること、全員の賛成で同意。

○川北町固定資産評価審査委員会

委員

吉岡 正美氏（中島）



平成28年6月30日で、宮田禊氏（中島）が任期満了となり、新たに吉岡正美氏を選任すること、全員の賛成で同意。

追加議案

○財産の購入契約について

「温泉の源泉ポンプ」を購入するもので、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により随意契約とし、見積書を徴収した結果、最低価格業者「環境エンジニアリング株式会社」と、消費税を含め1千393万2千円で、6月6日、仮契約を締結。

今回、本契約を締結するため「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例」第3条の規定により、議会の議決を求めたもの。

名 称	源泉ポンプ
契約方法	随意契約
契約金額	1千393万2千円
契約相手	環境エンジニアリング株式会社

7月議会臨時会 12日

工業用水道事業に着手

平成28年第3回（7月）議会臨時会では、工業用水道事業などの案件7件が上程され、原案通り全員賛成で可決しました。
主な内容は、次のとおりです。

○平成28年度川北町工業用水道事業会計予算

○川北町工業用水道事業の設置等に関する条例

○川北町工業用水道供給条例 の給与の種類及び基準に関する条例



○工事請負契約の締結

事業名称 百寿会館空調設備等改修工事

契約方法 指名競争入札
契約金額 7千776万円
契約相手 白山建設株式会社



快適な施設へ

○財産の取得

事業名称 川北町給食調理用備品納入業務
契約方法 指名競争入札
購入金額 694万6千452円

購入相手 松村物産株式会社

委員会審議

主なもの

Q & A

● 6月議会定例会

総務産業常任委員会

Q 公有財産管理システム固定資産台帳整備事業については。

A 町が所有する、土地・建物（施設）について、台帳を整備します。



公有財産の整備へ

Q 情報セキュリティ強化対策事業費で、維持費はこの事業費の中に含まれているのか。

A 含まれていません。

教育民生常任委員会

Q 国保制度改革により、平成30年度から市町に変わり、県が財政運営の責任主体となるとのことだが、平成30年度に向かって次年度も保険税率を引き上げるのか。

A 県からの標準保険税率の試算状況を注視しながら、国保運営協議会で協議・対応したいと思います。

Q 保険税増加額については。

A 一人あたりの平均保険税は、



年間で4千623円程度増額となり、9万7千円台になります。

Q 一般会計からの繰出金の限度額はあるのか。

A 特にありません。

Q 当町の国保加入者数は。

A 千100人程度で推移しています。

Q 徴収率については。

A 平成27年度現年分で97・49%です。

● 7月議会臨時会

総務産業常任委員会

教育民生常任委員会

Q 基本水量の設定の方法は。

A 企業より、使用予定の水量等を記入した申請書が提出され、それに対して供給量の可否を判断し、決定します。

また、(株)J D Iの希望水量は、3千600t／1日です。

Q (株)J D I以外にも企業が、工業用水道を利用することになった場合は。

A 最大の給水量を変更し、経済産業局へ申請することになります。

Q 給水区域が限定されているのは。また、別の区域（東部・西部など）で要請があった場合は。

A 当面は、(株)J D Iとその周辺

を対象としているためです。

別の区域については、配管を延長するか、新規に井戸を掘削し、供給することになると思います。

Q 基本料金（35円／一立方メートル）の根拠は。

A コンサルタント会社に依頼し、必要経費を計算し、償却基準などを加味して設定しています。

Q 簡易水道の井戸には、影響はないのか。

A 事前調査では、問題はありません。

現在も工業用水道水源近辺の4ヶ所の井戸に水位計を取り付け、その水位を随時調査しています。

Q 会計ソフト450万円などは、高額と感じるが。

またそのシステムを選定する際の入札やシステムへの入力作業などについては。

A 「CCC」と「ちゅうせつ」

より、見積もりを取寄せて、価格の低い「ぎようせい」のソフトを採用しています。

入力については、「ぎようせい」のフォローを受けながら、職員が入力します。

Q 給水開始が、来年の1月〜となっているが。

A これは、本年7月（予定）で事業を開始し、9〜12月までの農閑期に送水・配水管などの工事を行い、1月より給水を行う予定となっているためです。



工業用水の安定供給へ

Q 従来、(株)JDIが使用していた、敷地内の井戸については。

A 従来どおり使用した上で、今回の工業用水道の供給を受けようとするものです。

Q 基本料金（35円／一立方メートル）の見直しについては。

A 経済産業局へは、料金については、5年毎に見直す予定になっています。

Q 通信運搬費については。

A (株)JDI前の配水施設（予定）より役場までの区間を専用回線で結び、水位やポンプの状況を把握できるようにするためのものです。

Q 使用料及び賃借料については。

A 送水・配水設備工事の際の農地の使用や借り入れに対して支払われるものです。

自治功労町議会表彰

4月26日に開催された石川県町村議会議長会定期総会の席上において、川北町議会に対し、全国町村議会議長会より、自治功労町議会議表彰状が授与されました。



自治功労特別表彰

右記の表彰に併せ、山先守夫石川県町村議会議長会会長が、全国町村議会議長会より、自治功労表彰状を授与されました。



町政を問う！

質問 いなみ ひでとし **井波 秀俊議員**

**人口増加目標と
財源は！**



現状より税収を増やす、もしくは維持するためには、企業誘致や既存の産業の更なる躍進、観光戦略による交流人口増加など多岐にわたる戦略が必要だと思えます。そこで、今後我が町としては、どのような戦略で財政を潤しているのか、町長の考えは。

答弁 まえ てつ お **前 哲雄町長**

**新たな財源の確保に、
鋭意努める**

町ではこれからも、安心し子どもを産み育てる事が出来、更に安全で安心な地域社会の実現を目指し、人口構成のバランスの維持を図りながら、緩やかな人口増加に向けた取り組みを、推進していきたいと考えています。

その為に必要となる財政基盤の確保については、地場産業の振興はもとより、引き続き企業誘致に努力していく所存ですが、企業からの税収は景気に左右されやすく、先を見通すのは困難です。

しかし、(株)ジャパンディスプレイの工場内では、同じく液晶事業を手掛ける(株)ジェイオー

レッドが、ディスプレイの有機ELパネルを開発する為、新たに設備投資を行っており、今後の税収増が見込まれます。

今後、新たな財源の確保に、鋭意努めます。

質問 いなみ ひでとし **井波 秀俊議員**

川北まつりの経済効果と観光戦略は！

川北まつりがもたらす、我が町への経済効果は、どれほどのものなのでしょうか。

経済効果が拡大されれば、地元産業や地域の活性化にもなり、まつり自体も更に意義のある良いものになり、継続性も増してくるのではないのでしょうか。

川北まつりの経済効果と、今後のまつりを活用した町経済の活性化について、町当局の考えは。

答弁 よしおか ゆうじ **吉岡 友次 産業経済課長**

町の活性化に繋がるよう、鋭意努力する

地元産業の活性化に繋がるような仕掛けは必要であると考えています。ただ、経済効果については、数字で直に現れるようなものはありません。

また、本来の趣旨は、町民の皆さんが総参加することにより、楽しく元気になって頂くことと、あわせて川北町の知名度を高めていくことが、その目的ではないかと考えています。

この6月下旬には観光戦略の一環として、商工会が中心となって首都圏へ出向き、北陸新幹線開業効果に便乗した、川北まつりのPR活動を予定しており、関東方面の誘客と知名度アップに繋がるのではないかと考えています。

今後、町商工会と連携を更に深めながら、少しでも町の活性化に繋がるよう、鋭意努力します。

質問 山村 秀俊 議員

やまむら ひでとし

町営住宅の

建設計画は！



平成32年度（2020年）の目標人口6千650人を達成するためには、381人の増加を目指す必要があります。川北町の世帯数換算で、115世帯ほどとなります。

ここ10年近くの人口増は、新興住宅地への移住によるものと思われる、その受け皿があつてこそ、移住後の充実した子育て環境や教育環境を享受しているものと思われ

ます。目標人口の達成のためには、町が、受け皿となるべき町営住宅の建設事業を、新たに計画する必要がありますが、町当局の考えは。

答弁 前 哲雄 町長

まえ てつお

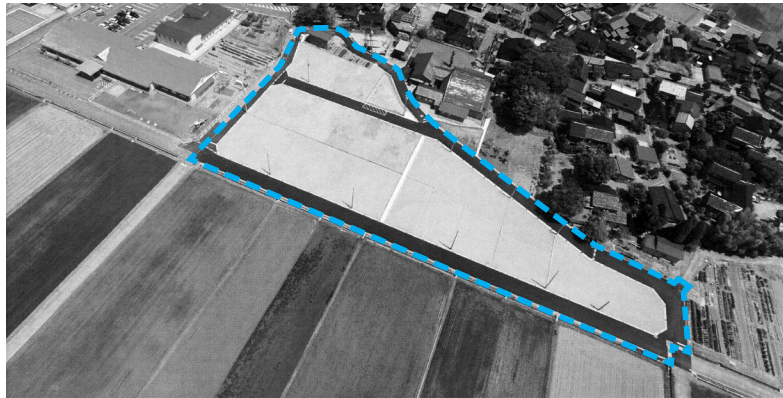
地域ぐるみで、宅地造成が進められることを期待する



町営住宅の建設を行うには、少なくとも1箇所、約7千㎡の敷地と、10億円近い費用が必要となります。また農業振興地域の除外も厳しくなっており、まとまった用地の確保が難しい状況です。

そのような中、人口減少社会におけるモデルケースとして、現在、中島地区では人口の減少と高齢化を懸念し、地元が主体となつて議論を重ね、集落周辺の「白地地域」に住宅地の造成を計画し、民間業者が開発を行う宅地造成が行われています。

町としても、このような集落周辺の宅地開発については、上下水



期待される宅地開発

道などのインフラ整備に積極的に協力し、また、町営住宅の建設も念頭に置き、人口の増加を図りたいと考えています。

そして、町内のそれぞれの地域でも、このような地域ぐるみで、宅地造成の計画が進められることを、大いに期待しています。

質問 山村 秀俊 議員

やまむら ひでとし

定住促進の方策は！

定住促進の方策として、新たに結婚などにより、町内に定住される場合の支援策などを、検討されているかがかと思いますが、町当局の考えは。

答弁 前 哲雄 町長

まえ てつお

魅力ある町づくりを進めていく

定住促進のための支援策につきましては、一時金も一つの方法ですが、長期的に有効な公共料金の低廉化、教育、福祉、子育て施策の充実、そして生活環境の整備などで、川北町に住まいを求めて良かったと実感できるような、魅力ある町づくりを進めたい。

質問 森 作治 議員

総合防災訓練の 進捗状況は！



熊本大震災などにみる突発的災害のことを考えますと、一刻も早く、また、繰り返しでの防災訓練が必要と考えます。

防災行政無線完成後に予定されています、総合防災訓練の進捗状況は、どのようになっているのでしょうか。

現段階での訓練の時期などの概要は。

答弁 前 哲雄 町長

綿密に計画を進める

防災行政無線の整備が完了した

後、職員の緊急出動や役割の訓練などを実施した上で、総合防災訓練の具体化について、地区の防災組織、関係機関などと協議をしながら、綿密に計画を進めたい。

質問 森 作治 議員

川北中学校の 部活動は！

現在、橘・川北小学校にはブラスバンドがあり、長く続く伝統のあるバンドと聞いています。



伝統ある小学校ブラスバンド

小学校で管楽器に接し、音楽の楽しさを理解しつつ、中学校に進学すると、川北中学校には、ブラスバンドは存在しません。

子供達の感性、個性を伸ばす意味でも、すぐに結果は望めませんが、絵画、音楽などの文化面の充実、とても重要と考えています。

現在、川北中学校で文化的な活動を行っている部は、家庭部のみとなっていますが、ブラスバンドや美術部などの文化部の創設について、町当局の考えは。

答弁 室谷 敏彦 教育長

新たに部を創設することは考えていない



中学校における部活動は、教育

課程外の活動であるものの、学校教育活動の一環として、中学校教育において、大きな意義や役割を果たしています。

ご質問の文化部創設とのことですが、部の設置や顧問の決定は、生徒数や教員数、利用できる施設などを考慮し、学校の判断で決定しています。

現在のところ、川北中学校では部活動の数に対して、教員の配置人数は不足しており、新たに部を創設することは、考えていません。



将来、文化部も…

質問 坂井 毅 議員

さかい たけし

ＩＴ技術者の
育成は！



当町でも各種システムが運用されていることから、ＩＴ技術に長けた人材が求められています。
今後、職員の採用でもＩＴ技術者の確保が必要と思いますが、町当局の考えは。

答弁 吉田 晃 総務課長

よしだ ひかる

職員の研修への参加を奨励し、能力の向上に努める

町としても、コンピューターシステムの運用管理などについて、職員の研修への参加を奨励し、能力の向上に努める事に対応します。

質問 坂井 毅 議員

さかい たけし

シルバー人材
センターの設立は！

他市町においては、シルバー人材センターが設立されていますが、川北町にはありません。
川北町にも設立をと思います
が、町当局の考えは。

答弁 大山 保

おおやま たもつ
保健センター
館長兼福祉課長

慎重に検討しなければならぬ状況

就業機会の提供については、本町の規模では、需要と供給のバランスと自主財源の確保が一番大きな問題となり、運営は非常に難しいと考えています。
今のところ、シルバー人材センターの設置については、相当、慎重に検討していかなければならない状況です。

質問 坂井 毅 議員

さかい たけし

国内での
姉妹都市提携は！

国内における姉妹都市提携の可能性を模索されては、いかがでしょうか。

今年3月に作成されました、川北町版総合戦略にも、「町民の多様な価値観を醸成していくため、国内外の活発な交流を促進する。」とありますが、町当局の考えは。

答弁 前 哲雄 町長

まえ てつお

ふさわしい自治体があれば、今後の課題としたい

姉妹都市ともなると、交流目的や内容について、お互いの自治体にとって有意義であり、親しく長く交流が続くことが期待されます。

川北町にとって、未永く姉妹都市を結ぶにふさわしい自治体があれば、今後の課題とし、議員の皆様方とともに、検討したい。

質問 坂井 毅 議員

さかい たけし

農地転用の
進捗状況は！

農業振興地域での農地転用は、色々な法律をクリアしなければならぬ事など、簡単にはいかないことは理解出来ますが、北海道東川町への視察の後、県との相談はされているのでしょうか。

また、その後の農地転用の進捗状況はどのようになっているのか、町当局の考えは。

答弁 前 哲雄 町長

まえ てつお

県の指導を仰ぎながら協議を重ねている

この視察の後、「農村地域工業等導入法」での適用について、県より指導を受けました。

現在、この法律の適用による農振除外が出来ないか、県の指導を仰ぎながら、事務レベルで数回にわたり協議を重ねている段階です。

みんなの広場

バレーボール協会

～ひとつのボールをみんなでつなぐ～



川北町バレーボール協会は、昭和47年に設立され、当時は県体で男子は8回（5連続含）、女子も3回（3連続）優勝と、県内有数の強豪チームでした。

また、昭和55年には、児童の健全育成を目的とした、ジュニアバレーボールチームが結成され、現在も多くの小学生が活動しています。

昨年の県体では、一般女子チームが、久しぶりに優勝し、今年は連覇を目指し毎週、総合体育館で練習しています。

只今、女子チーム、ジュニアチームの仲間を募集中です。興味のある方、一緒にバレーボールをしてみませんか？体育館でお待ちしています！



比 楽 河 撫 子 舞

～大きな舞台で踊る楽しさを～



比楽河撫子舞は、YOSAKOIブームにのり、体を動かすことが好きな親子・大人・子供が集まり、平成15年から活動を開始しました。

町の青少年活動連絡協議会及び文化団体協議会に籍を置き、現在は町内を中心に活動を行っています。

昨年は、久しぶりに「火まつり」の舞台で踊ることができ、大勢の方に応援して頂けるうれしさや大きな舞台で踊る楽しさを感じることができました。

これからも元気いっぱい、力強く踊ることを目標に練習に励みたいと思います。

月2回、町総合体育館で小学校2年生から6年生まで38名で楽しく練習を行っています。いつでも加入できます。気軽に踊りにきてください。



お問い合わせは、川北町議会事務局まで

☎076(277)1111

編集後記

町議会議員となつて早、1年が経過しました。

それと共に、議員の職責とは？政治活動とは？などと、ふと考え、迷うことも多くなりました。それは、議員として、政治家として、それぞれの立場が一致しないことや、場合によっては、相反する場合もあるということです。

また町民より「議員になって、何をしたいのか？」との問いには、言葉に窮することもしばしば。

あえて言葉にしてみても、「そんな程度なのか。」と困惑した表情をされてしまいます。

このように、日頃思うことは、いろいろとありますが、目指す方向は、「この町をよりよくしたい。」ということなのです。

よく話を聞き、そして学びながら、少しでも志を高く思う2年目にしたいと思っています。

山村 秀俊 記

議会を傍聴しましょう◆

次回の定例会は9月です。お気軽にお越しください。